

異物混入について

1. 異物混入の事例

◇ファーストフード店舗でナゲットにビニール片が混入

◇冷凍食品のパスタに虫(ゴキブリと推定)の一部分が混入

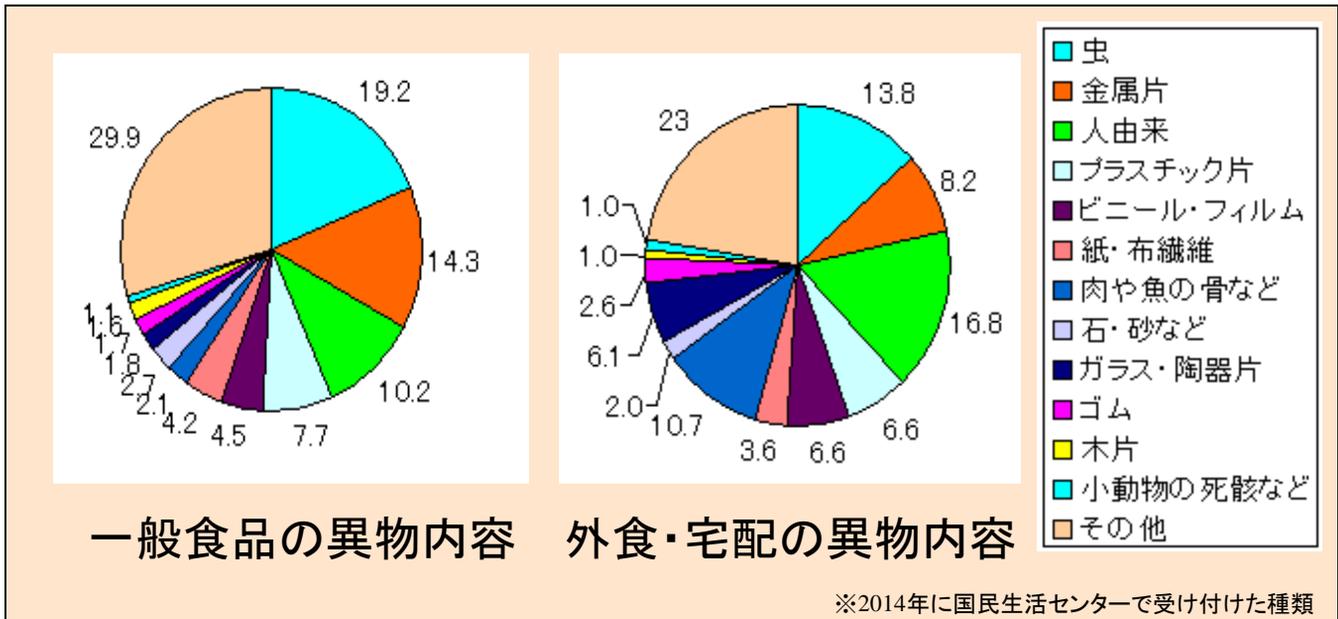
消費者から国民生活センターへの異物混入に関する相談

⇒ **約16000件** (2009年～2015年1月10日)

そのうち、口の中を切ったなど危害があった件数

⇒ **約3000件** (2009年～2015年1月10日)

2. 異物の種類



いずれも上位3位は虫・金属片・人由来の異物です

一般食品の1位は虫、

外食では毛髪・歯・爪などの人由来が1位です

3. 異物混入対策

原材料由来

- ①信頼できる業者から購入
- ②原材料入荷時の検収の徹底
- ③入荷後は、原材料別に区分し密封して保管
- ④定期的な現地視察

製造(調理)工程由来

- ①毛髪・爪などの混入
→決められた清潔な服装、エアシャワー・ローラーかけなど入室前の異物除去
- ②施設・機器類の破損と劣化による混入
→施設・機器類の日常点検を実行し、破損部分の確認と対処
製造前の目視確認
- ③清掃不足による害虫や汚れの混入
→定期的な清掃の徹底、定期的な害虫駆除業者による確認
- ④機器類の洗浄不足による洗浄剤などの混入
→洗浄・消毒の徹底、目視確認
- ⑤焦げ・骨などの混入
→下処理・検品の徹底

異物はお客様への多大な不快感を与えてしまうだけでなく、『口の中を切る』『消化器異常』などの体への被害にも繋がります。
今一度施設内を見渡し危害の有無を確認しましょう